

3) 自由記載

① 講義の良かったところ、悪かったところ

【保健師】

- ・自然に育てば獲得しているはずの機能が、大人が与える環境によって阻害されてしまう怖さや、生まれてから立てるようになるまでの赤ちゃんの動きの意味とその重要性がよくわかった。

【保育士】

- ・幼児期の運動の大切さや保育所だからこそできる事を再認識する有意義な時間となりました。
- ・さっそく自由遊びにマット、跳び箱など環境設定し子ども達と取り組んでいきます。ありがとうございました。
- ・講師先生のお人柄。
- ・自分自身の中で再認識でき、安心感が生まれた。
- ・子供の当り前の成長・動きだと思っていた事の土台作りの重要性、大切さを実感し、その為の働き掛けがはっきりわかってとても良かった。
- ・子供との体操やエクササイズを行う時の重要な部分が理解できてよかった。
- ・寝返りやハイハイなどの運動が体の土台となる為の大切な運動学習であり、ハイハイが少なく育った子であっても、発育発達に沿った運動をやり直す事で姿勢などの気になる姿が改善されていくのが良く分かった。
- ・日頃の保育で感じている事を、理論的に話を聞く事が出来納得できた。
- ・これからの保育にハイハイ遊びを取り入れていきたいと思う。
- ・ハイハイについての重要性は認識していたものの今回実際にやってみると、子ども達のあの笑顔・・・とても素敵でした。私たちも先生のお話を聞いて安心し気持ちが落ち着きました。ありがとうございました。
- ・とても身近に感じられ、わかりやすい内容だった。

② その他の感想（現場で感じている課題、研修に関する要望など）

【保健師】

- ・ぜひお母さんに限らずお家の人にも聞かせて欲しいお話だと感じましたし、その様な機会を設けたいと思いました。
- ・乳幼児健診の「ハイハイ相談」はどのように時間を設定し問診と診察の間に組み込んでいるのですか。
- ・保護者の方の関心の低さ。
- ・研修会などを設定し参加して頂く必要性を感じます。ただ「大変大切なこと」と感じていただかない限り、何も変わらないと感じている日々です。でも、一人でも二人でもと思ってやるしかないんですよね。
- ・まだまだ深く聞きたい（実践も含め）内容でした。2歳時にハイハイをさせてみたところ、グーのままですしている子どもがおり、その家庭は祖母がすべてしてしまいその子供もやっってもらうのが当たり前になってしまっています。先生の話を実感しました。是非家庭教育学級として、保護者にも研修に参加してもら

いたいと思います。

- ・ 保育現場だけでなく、自らの子育ての中やスポーツ少年団の子ども達の姿を見ていて気になっていた点が、生活環境に変化、子育てをする母との関わり方などによるものだという事を改めて感じましたが、これからの関わり方ででも、まだまだ改善できる事があるのだと分かり、日常の保育の中でも子ども達と楽しみながら行える内容だったので、すごく学ぶ事の多い研修でした。
- ・ 発達障害のある子に対してもリハビリとして行うのは、他の子と同じ内容の動きを経験させ五感を刺激する事も大切だと分かりました。
- ・ 気になる子の姿としては、周囲の友達とぶつかりやすい、投げたボールを避けられず当たってしまう。椅子に座っていても背中が丸くなるなど姿勢が保てない。
- ・ 親に対しても聞かせてあげたい内容だった。
- ・ 先生の的確なアドバイスや事例を交えてのお話は、とても参考になりました。そして先生の“動き“には本当にびっくりでした。私たちが常に動いているつもりでしたので反省させられました。明日から先生を見習い頑張ります。
- ・ 子供たちと一緒にいった講習はとても勉強になりました。直ぐに子供たちと実践しました。今後の保育に直ぐに役立てられる内容でありました。お忙しい中ありがとうございました。